



学校だより

清流

立山中央小学校

令和2年9月

みんなが楽しく通える2学期に

今年の夏休みは、わずか12日間と短く、行動が限られていたせいも、子供たちは例年以上に学校で友達と遊んだり、おしゃべりをしたりすることを楽しんでいます。

2学期の始業式では、アンビグラムを用いて以下の話をしました。

※アンビグラム：異なる方向からも読み取れるようにしたグラフィカルな文字のこと

○ 挑戦 ⇔ 勝利

何事もやってみることが大事。それが勝つことにつながる。

○ 努力 ⇔ 才能

自分の得意なことやよさをどんどん伸ばそう。

○ 感謝 ⇔ 医療・ありがとうございます

新型コロナウイルスに対する医療従事者の献身に感謝しなければならない。

「ありがとう」を言える人は、とても素敵な人である。

○ ピンチ ⇔ チャンス

今は、例年と同じことができないピンチな状況にあるが、これを新しい取組を始めたり活動を考えたりするチャンスにしよう。

子供たちのために（校内研修会より）

今年は、未知なる学校経営を強いられており、どのように子供たちを指導していけばよいか大変難しい状況にあります。校内では、書籍資料を参考に、共通理解を図りました。

【書籍資料より～学校再開後の傾向として～】

- ・低学年の人間的な成長が遅く「勉強が嫌だから帰りたい」という子供が増えている。
- ・高学年は、リーダーとして活躍する場を失っているため、今後の成長度に影響があるかもしれない。
- ・休校中に運動量が減ったので、すぐに疲れてしまう子供が目立つ。（本校では肥満も多い）また、集中力が続かない、机に向かう姿勢が保てない、感情の浮き沈みが激しいなど、精神的に不安な子供がいつもより多い。さらに、ストレスによって「赤ちゃん返り」のようになっている子供が多くいる。
- ・他人のため、学級のために行動するという感覚が養われにくい。

【共通理解したこと】

- ・子供との関係づくりに力を入れよう。
- ・元気そうに見えても疲れやすい、眠れていないなどの子供の観察に努めよう。
- ・子供が明るくなるような声かけをしよう。
- ・自主学習のノウハウを身に付けられるような指導を心がけよう。
- ・家庭とつながって、学びを止めない工夫や仕組みをつくろう。
- ・できることを工夫して、経験を積みませよう。

保護者のみなさまには、子供たちの健やかな成長のために、今学期も学校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。